

長根だより

令和7年9月15日

9月号

長根小 学校通信

【校訓】 強く 明るく よく励む

仲間とともに、学びを深める秋へ

長根小学校長 三宅 勝之

2学期が始まりました。夏休みを経て、子どもたちは心も体も一回り成長した姿で登校してきました。久しぶりに友達と顔を合わせ、笑顔で会話を交わす様子からは、仲間とのつながりの大切さが感じられます。これから始まる秋の学びに向けて、子どもたちの表情には期待と意欲があふれています。

夏休みは、自由な時間の中で「自己調整力」を育てる絶好の機会でした。自分の気持ちや行動を振り返り、目標に向かって調整する力は、学習面だけでなく、日常生活や人間関係にも大きく関わってきます。2学期の学びの中で、こうした力がどのように生かされていくのか、子どもたちの成長が楽しみです。

2学期は、「協働する力」の育成にも力を入れていきます。表現する力が「自分らしさ」なら、協働する力は「相手を思いやる力」。グループ活動や話し合い、共同制作などを通じて、互いの考えを尊重し合いながら、よりよいものを創り上げていく姿勢を育んでいきます。

9月には、6年生が国際芸術祭「あいち2025」の会場である陶磁美術館を訪れ、作品鑑賞を行います。その後には、粘土を使った作陶体験にも挑戦する予定です。アーティストの作品に触れ、自分の手で表現するという貴重な体験を通して、子どもたちがどんな気づきや感動を得るのか、今からとても楽しみです。

一人一人の表現が、互いに響き合い、混ざり合い、新しい色を生み出す——そんな秋の学びが、長根芸術祭などの活動を通して広がっていきます。個の表現が集団の創造へとつながる「共創」の姿を、学校全体で支えていきたいと思っています。



こうした豊かな学びは、保護者や地域の皆様のご理解とご協力によって支えられています。地域の方との交流や保護者の皆様の温かい関わりが、子どもたちの学びをより深く、豊かにしてくれます。2学期も、子どもたちが仲間とともに学びを深め、自分らしく輝けるよう、職員一同力を合わせて取り組んでまいります。引き続き、長根小学校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

みらい こ
未来につながる子どもたちへ No.86

ひとりじゃできないことがある

2学期が始まりました。夏休みの間に、楽しかったことやがんばったこと、いろいろな思いがあったと思います。9月は「仲間とともに、学びを深める秋」。ひとりではできないことも、仲間とならできることがあります。考えがちがっても、話し合えば新しいアイデアが生まれることもあります。「ひとりじゃできないことがある」——だからこそ、仲間といっしょに考え、協力して、すてきな秋にしていきたいと思います。